

科目ナンバリング		G-LAS14 80008 SJ90									
授業科目名 <英訳>		アントレプレナーシップ Entrepreneurship				担当者所属 職名・氏名		医学研究科 非常勤講師 寺西 豊 特定講師 山口 太郎 非常勤講師 高山 幸次郎			
群	大学院横断教育科目群			分野(分類)	キャリア形成系			使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中		曜時限	集中		配当学年	大学院生	対象学生	全学向		
（医学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）											
【授業の概要・目的】											
【目的】 主に研究者の起業家精神を育成し、起業を志す際に不可欠な知識とスキルを提供することを目的とする。 【対象】 本科目の主な対象者は、起業に関心を持ちつつも、どのような手順を踏めば良いのかが明確でない起業初心者である。既に具体的なビジネスアイデアを持ち、起業の準備段階にある、あるいは起業済みで、先輩起業家や投資家との壁打ちなどを希望する学生には、外部のアクセラレーターやピッチイベントをお薦めする。 【概要】 本科目は、医療ヘルスケア領域に特化した起業に関するものである。この科目では、受講生に起業を身近に感じてもらうために、多数の起業家からの講演を聞いてもらう。これらの起業家は創薬、再生医療、医療機器など多種多様な医療ヘルスケアスタートアップに携わっている。本科目では、医療ヘルスケア領域での起業に必要な基本的な知識とツールを提供する。具体的には、デザイン思考、リーン・スタートアップ、財務諸表、知的財産（特許）、ファイナンス、薬事規制など、起業に必要な重要な要素を学ぶ。これらの講義やワークショップは、医療ヘルスケア領域の第一線で活躍する専門家が行い、実践的な知見を共有する。 また、講義・ワークショップと並行して、受講生はチームを組み、医療ヘルスケア領域のニーズを解決するビジネスモデルを作り上げる。このプロセスを通じて、医療ヘルスケア領域における臨床ニーズに基づいたビジネスモデルの構築を体験してもらう。チーム作業、中間発表では、受講生、教員と壁打ちを行う。最終日には、受講生が教員や外部投資家の前でビジネスモデルを発表し、実践的なフィードバックを受ける機会が設けられている。この科目を通じて、医療ヘルスケア分野での起業家精神を育み、実践的なスキルと知識を身に付けることができる。											
【到達目標】											
起業に必要な基本的な知識の習得および臨床ニーズに基づく起業プロセスの理解を目指す。											
【授業計画と内容】											
第1回	4月8日	ガイダンス / ビジネスツール									
第2回	4月15日	デザイン思考（ミニワークショップ）									
第3回	4月22日	起業家講演(医療介護共創基盤株式会社 代表取締役 藤本 大士)									
第4回	5月13日	アイデアソン									
第5回	5月20日	ベンチャー・ファイナンス（三菱UFJキャピタル株式会社 長谷川 宏之）									
第6回	5月27日	財務諸表の読み方(KPMG FAS 関 清)									
第7回	6月3日	起業家講演(トレジェムバイオフィーマ株式会社 喜早 ほのか)									
第8回	6月10日	起業家講演（株式会社エスユーエス 取締役 吉川 友貞）									
第9回	6月17日	知的財産の基礎									
第10回	6月24日	中間発表									
----- アントレプレナーシップ(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

アントレプレナーシップ(2)

第11回	7月1日	シミュレーションゲーム（早稲田大学大学院経営管理研究科 准教授 牧 兼充）
第12回	7月8日	薬事規制（内海 潤）
第13回	7月22日	起業家講演（AMI株式会社 代表取締役 小川 晋平）
第14回	7月29日	最終発表
第15回	7月29日	起業家講演(株式会社マイオリッジ代表取締役 牧田 直大)

* 外部講師の都合により日程変更等の可能性があります。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

以下の3点を総合的に勘案して評価する
授業における発言頻度（ディスカッションへの積極的参加等）
チームワーキングへのコミット
最終発表するビジネスモデルの内容

【教科書】

特になし。講師が作成した資料で代用。その他、適時講義中に参考資料を提示。

【参考書等】

（参考書）
ステファノス・ゼニオス、ジョシュ・マコーワその他『バイオデザイン』（薬事日報社）
スティーブン・G・ブランク、ボブ・ドーフ『スタートアップ・マニュアル』（翔泳社）
Open Network Lab『Pitch』（インプレス）
エリック・リース『リーン・スタートアップ』（日経BP社）
アッシュ・マウリヤ『Running Lean—実践リーンスタートアップ』（オライリージャパン）
サラス・サラスバシー『エフェクチュエーション』（碩学舎）
根来達之他『ビジネスモデル』（SBクリエイティブ）
ダイアナ・キャンダー『スタートアップ』（新潮社）

【授業外学修（予習・復習）等】

ビジネスモデル作成にあたり、授業以外でのチーム作業が必須となる。

【その他（オフィスアワー等）】

このコースの受講生は、夏期集中講義「アントレプレナーシップ特論」（ビジネスゲーム）を受講できる。

このコースに続くプログラムとして、HiDEP（毎年7～9月）がある。

HiDEP：<https://ku-med-device.jp/hrd/hidep/>